

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 3 月 24 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/24 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	24.1	104.7 kPa abs	A系:0.00 vol% B系:0.00 vol%
		給水系：約 4.7 m <sup>3</sup> /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 6.0 m <sup>3</sup> /h	51.3	15.98 kPa g	A系:0.25 vol% B系:0.26 vol%
		給水系：約 2.8 m <sup>3</sup> /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 4.9 m <sup>3</sup> /h	54.3	0.30 kPa g	A系:0.19 vol% B系:0.18 vol%
		給水系：約 1.8 m <sup>3</sup> /h			

\*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/24 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.5
2号機	循環冷却システム	運転中	14.5
3号機	循環冷却システム	運転中	15.2
4号機	循環冷却システム	運転中	25

【2号機】・1/19 11:50～ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	3/20 10:14 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	3/19 8:41 ~ 3/24 9:27 移送実施
6号機	6号機 タービン建屋	→	仮設タンク	3/23 10:00 ~ 16:00 移送実施

#### <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/24 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)
運転状況	運転中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

#### <5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- ・H24/3/24 10:20 頃 3号機原子炉建屋ガレキ撤去工事に従事している協力企業作業員1名が、作業現場に到着後、防護マスクのフィルタが装着されていないことに気付いたことから、休憩所に戻った。  
その後、放射性物質の内部取り込みの可能性があることから、念のため、ホールボディカウンターによる測定を行った結果、内部被ばく線量の問題はなく、放射性物質の内部への取り込みはないと評価。

以上